

保護者等からの放課後等デイサービス事業所評価の集計結果(公表)

公表：令和6年2月16日

アンケート期間：令和5年12月25日～令和6年1月12日

事業所名 放課後等デイサービス和く話く

保護者等数(児童数)15名(16名) 回収数9割合60%

	チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた 対応
環境・ 体制整備	1 子どもの活動等のスペースが十分に確保されているか	8	1				
	2 職員の配置数や専門性は適切であるか	6	2		1		
	3 事業所の設備等は、スロープや手すりの設置などバリアフリー化の配慮が適切になされているか	4	2		3		
適切な 支援の 提供	4 子どもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、放課後等デイサービス計画※ i が作成されているか	9					
	5 活動プログラム※ ii が固定化しないよう工夫されているか	9					
	6 放課後児童クラブや児童館との交流や、障がいのない子どもと活動する機会があるか	1		2	6	必要と思わない。	
保護者 への 説明等	7 支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明がなされたか	9					
	8 日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解ができているか	8	1				
	9 保護者に対して面談や、育児に関する助言等の支援が行われているか	8		1			
	10 父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により保護者同士の連携が支援されているか	1		2	6	必要と思わない。	
	11 子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知・説明し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	6			3		
	12 子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされているか	8			1		
	13 定期的に会報やホームページ等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信しているか	9					
	14 個人情報に十分注意しているか	8			1		
非常 時等 の 対応	15 緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、保護者に周知・説明されているか	6	1		2		
	16 非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出、その他必要な訓練が行われているか	7			2		
満足 度	17 子どもは通所を楽しみにしているか	9					
	18 事業所の支援に満足しているか	9					

※ i 放課後等デイサービスを利用する個々の子どもについて、その有する能力、置かれている環境や日常生活全般の状況に関するアセスメントを通じて、総合的な支援目標及び達成時期、生活全般の質を向上させるための課題、支援の具体的内容、支援を提供する上での留意事項などを記載する計画のこと。放課後等デイサービス事業所の児童発達支援管理責任者が作成する。

※ ii 事業所の日々の支援の中で、一定の目的を持って行われる個々の活動のこと。子どもの障がい特性や課題、平日/休日/長期休暇の別等に応じて柔軟に組み合わせて実施されることが想定されている。

放課後等デイサービス事業所における自己評価結果(公表)

討議年月日: 令和6年 2月 1日

公表: 令和6年 2月 16日

事業所名 放課後等デイサービス 和く話く

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
環境・体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	○		わくわくルームの他、体育館やスヌーズレンルーム、グラウンドも活用しています。	
	2	職員の配置数は適切である		○		1名分の欠員募集を行っています。
	3	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされている	○		段差へのテーピングを行いました。	段差が多い為、利用者の方の移動時には見守りを行っています。
業務改善	4	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画している	○		毎日の打ち合わせで、前日の振り返りと当日の活動内容、共有事項の確認を行なっています。	
	5	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	○			アンケート結果を職員間で共有する予定です。
	6	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開している	○			準備を進めています。
	7	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている	○		法人による内部監査、市町村による実地指導で業務の見直しを行なっています。	
	8	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	○		部署内での虐待に関する研修の他、園全体でも研修を実施され、参加しています。	
適切な支援の提供	9	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成している	○		アセスメントやモニタリング、要望確認を通してニーズの把握を行い、複数の職員で検討会議を実施し、個別支援計画を作成しています。	
	10	子どもの適応行動の状況を把握するために、標準化されたアセスメントツールを使用している	○		一昨年見直しを行ったアセスメント票を使用しています。	
	11	活動プログラムの立案をチームで行っている	○		担当者を決め、担当者が中心となり、準備を進めています。	
	12	活動プログラムが固定化しないよう工夫している	○		週単位で活動プログラムを変更したり、利用者ご本人に活動内容を選択してもらったりしています。	
	13	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援している	○		活動時間によって、活動内容を提案したり、長期休みは個別、集団の活動を取り入れています。	課題は設定していません。

適切な支援の提供	14	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成している	○		ニーズを基に、障がい特性や各々の課題から個別支援計画を作成しています。	
	15	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	○		必ず打ち合わせを実施し、送迎や活動内容の確認、前日の活動についての情報共有を行っています。	
	16	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している		○		支援終了の当日は送迎や見守りがある為、実施できていません。翌日の打ち合わせで支援の振り返りを行なっています。
	17	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	○		記録を書く際、個別支援計画をすぐに確認できるように、職員のみが見ることができるところに置いています。また、書き方に関しては、計画に基づいた書き方を周知したり、研修したりしています。	
	18	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断している	○		半年に1回モニタリングを実施し、計画の見直しを行なっています。	
	19	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせ支援を行っている	○		創作活動や余暇の提供等の活動を提供しています。	
関係機関や保護者との連携	20	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	○		児童発達支援管理責任者が出席しています。	
	21	学校との情報共有(年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等)、連絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連絡)を適切に行っている	○		学校とは下校時に活動状況を共有し、必要に応じて連絡調整を行なっています。	
	22	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えている		○		現在、対象となる方はおりません。
	23	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めている		○		現在、対象となる方はおりません。
	24	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等している	○		いつでも情報提供できるように準備は整えています。	
	25	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている		○		
	26	放課後児童クラブや児童館との交流や、障がいのない子どもと活動する機会がある		○		
	27	(地域自立支援)協議会等へ積極的に参加している		○		
	28	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	○		連絡帳や送迎時に活動状況を伝えていきます。	
29	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っている	○		わくわく便りに掲載したり、保護者の方から相談があった際にはペアレント・トレーニングの手法を伝えたりしました。		

保護者への説明責任等	30	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	○		契約の際お伝えしています。	
	31	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	○		ペアレントトレーニングの手法も併せて助言しました。	
	32	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している		○		ご要望は聞かれておりません。
	33	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応している	○		苦情受付を整備しています。また、わくわく便りで9月に周知しました。3月にも周知する予定です。	
	34	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	○		Facebookや、3か月に1回発行するわくわく便りで、活動状況について発信しています。	
	35	個人情報に十分注意している	○			
	36	障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	○		言葉でのコミュニケーションの他、文字に書いてもらう等、利用者の方が伝えやすい方法で意思疎通を図っています。発言された言葉で意味が把握できない言葉については、保護者の方に意味を確認し、理解できるよう努めています。	
37	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている		○		以前は施設主催の夏祭りを開催していましたが、新型コロナウイルス拡大防止の為、今年度は開催していません。	
非常時等の対応	38	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知している	○		職員へは研修等で周知しています。保護者の方へは感染症の時期に対応に関する案内をお渡ししています。	
	39	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	○		避難訓練を実施しています。	
	40	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	○		毎月の会議や園での研修に参加して、様々な事例を検討し、意見交換しています。	
	41	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載している	○		現在、対象となる方はおりませんが、身体拘束に関するマニュアルを整備し、職員へ周知しています。	
	42	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている	○		契約時に保護者の方から確認し、職員間で周知を図っています。また、アレルギーをお持ちの方と食物に関して、職員だけが分かる場所に掲示し、常に確認できるようにしています。	
43	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	○		ヒヤリハットが発生した場合は職員間で状況を確認し、防止策を検討しています。また、1か月後に再確認しています。		